

響

ひびき

浄土真宗・お東

真宗大谷派 どうじょうじ
道誠寺報

No.77

2023年11月26日発行



絵：百田稔さん

仏道をならふといふは、自己をならふなり。

『正法眼蔵』「現成公案」巻・道元禅師

東京教区 報恩講

南無阿弥陀仏
人と生まれたことの意味をたずねていこう

2024

26日 | 帰敬式 法話 / 雲井 一久氏(横浜組真照寺候補衆徒)

27日 | 遠夜法要 感話 / 平松 敬子氏(東京4組専行寺坊守)
法話 / 小川 一乘氏(大谷大学名誉教授)
講題「いのちの事実に見覚えよ
一親鸞聖人にとっての死」

通夜説教 市野 光生氏(千葉組道誠寺住職)
三浦 雅彦氏(東京4組真英寺衆徒)
田上 翼氏(茨城1組一乘寺候補衆徒)
笠井 信宏氏(栃木組本誓寺住職)

28日 | 晨朝法要 感話 / 井口 弘寿氏(東京7組了見寺衆徒)
法話 / 関口 明司氏(茨城2組正覺寺住職)

日中法要 合唱 Tokyoサンガ9
感話 / 圓佛 郁子氏(茨城2組専照寺門徒)
法話 / 小川 一乘氏(大谷大学名誉教授)

報恩講
2024ではお斎の席
をご用意しております。
参詣されます方は、
ご寺院までお申し込み
ください。

2024年 1月26^金・27^土・28^日

You Tube 配信

27日(土)、28日(日)はYouTubeにて生配信します。

<URL> <https://ji-n.net>

東京教区報恩講の特設ページをご覧ください


暮らしにじいーん 報恩講

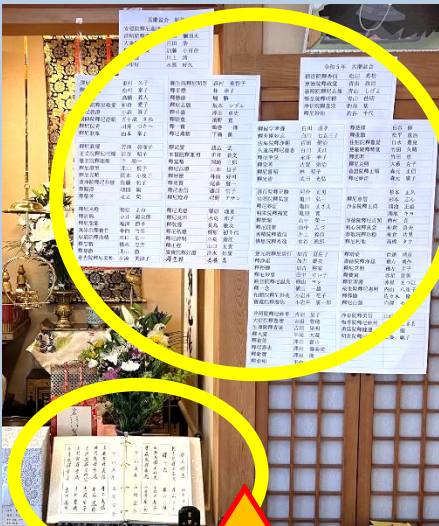


道誠寺住職は 1月27日土曜日 16時30分より通夜説教の場でお取次ぎさせていただきます。練馬区真宗会館にて

2024

道誠寺 行事日程表

- 修正会(しゅしょうえ) 1月4日(木)14時
- 東京教区報恩講 1月27日(土) 
- 春季彼岸会法要 3月21日(木)14時
- 子ども花まつり 4月7日(日)15時
- 盂蘭盆会法要 8月15日(木)15時



春秋彼岸・盂蘭盆会について

お寺の本堂では、参詣された皆さまと法要をご一緒にお勤めしています。

ご参詣のご都合がつかず、御布施を現金書留や銀行振込みにてお送りくださる方は、亡き故人さまの法名、俗名をお知らせください。

振込先は、他銀行からの振込みの場合

ゆうちょ銀行 宗教法人 道誠寺

店名 ○五八 ゼロゴハチ

普通預金 5129219

同じゆうちょ銀行からの場合

記号 10540-2

普通預金 51292191

ご自宅や本堂での戸別の参勤も承っていますので、ご依頼ください。

俗名	法名	俗名	法名
<input type="checkbox"/>	釋尼	<input type="radio"/>	釋
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/>		<input type="radio"/>	



行事報告



6月の同朋会は歌と法話の会でした。
鈴木 君代師(念通寺衆徒)にご出講
いただきました♪



お盆前の7月、報恩講前の10月の年2回のおみがき会を開催しました。
道誠寺の本堂の仏具は、おみがきのご奉仕をいただいているご門徒さん
たちのおかげでいつも光り輝いています☆☆

お手伝いいただける方は汚れてもよい服装でお越しください。
おみがき会の後には、近くの喫茶店で懇親会です。



上の写真は、8月の盂蘭盆会法要です。多くの参詣申込みがありました。

右の写真は、9月の秋季彼岸会法要です。次回は3月の春彼岸です。春秋彼岸、夏お盆は本堂やご自宅への戸別参勤も承っています。



その他、同朋会などの定例行事を開催しています。

「正信偈」をお勤めし、仏さまの教えに耳を傾ける聞法会です。



開催日はHPでご確認ください





金丸悦子さん

9月7日には、法友の山梨県在住の金丸さん(笛吹市佛念寺門徒)がご自宅で法座を開催することをお聞きし、有縁のご門徒さん方と参加してきました。

ご自宅のお内仏前でお勤めをして、百々海真師(港区了善寺住職)、武田定光師(江東区因速寺住職)両師が説法師子吼されるご法話を聴聞し、お昼には美味しいお齋が振舞われ、座談があり、贅沢な素晴らしい聞法日でした。



武田 定光師



百々海 真師

教への言葉に学ぼう

法身ほつしんは、いろもなし、かたちもましまさず。しかれば、こころもおよばれず。ことばもたえたり。

この一如いちごよよりかたちをあらわして、方便ほうべん法身ほつしんともうす御おんすがたをしめして、法蔵ほうぞう比丘びくとなのりたまいて、不可思議ふくしぎの大誓願だいせいがんをおこして、あらわれたまう御おんかたちをば、世親せしん菩薩ぼさつは、尽十方じんじっぽう無碍むげ光こう如来にょらいとなづけたてまつりたまえり。

この如来にょらいを報身ほうじんともうす。誓願せいがんの業因ごういんにむくいたまえるゆえに、報身ほうじん如来にょらいともうすなり。報ほうともうすは、たねにむくいたるなり。

この報身ほうじんより、応化おうけどう等の無量むしゆ無数むしゆの身みをあらわして、微塵みじん世界せかいに無碍むげの智慧ちゐ光こうをはなたしめたまうゆえに、尽十方じんじっぽう無碍むげ光こう仏ぶつともうすひかりにて、かたちもましまさず、いろもましまさず。

無明むみょうのやみをはらい、悪業あくごうにさえられず。このゆえに、無碍むげ光こうともうすなり。無碍むげは、さわりなしともうす。

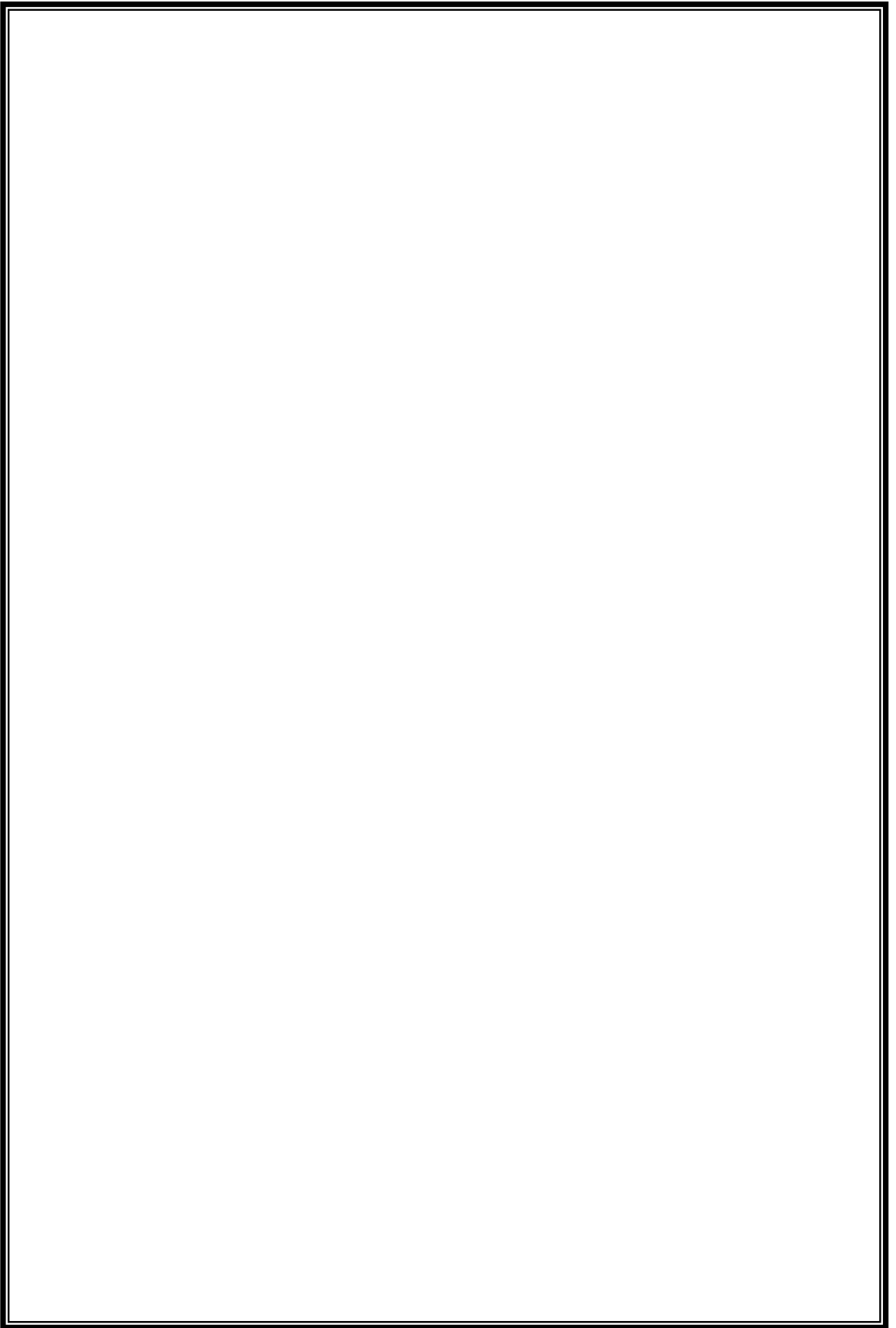
しかれば、阿弥陀あみだ仏ぶつは、光明くわうめいなり。光明くわうめいは、智慧ちゐのかたちなりとしるべし。

『唯信鈔文意』・聖典五五四頁

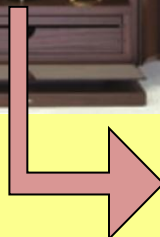
お内仏うちぶつ（お仏壇ぶつだん）の中心にご奉安ほうあんしているご本尊ほんそんは、阿弥陀あみだ仏ぶつ（阿弥陀あみだ如来にょらい、南無なんぶ阿弥陀あみだ仏ぶつ）です。



色も形もない法身ほつしんから「かたち」をあらわしたものの、つまり阿弥陀あみだ仏ぶつに成る以前の法蔵菩薩ほうぞうぼさつが起こした「生きとし生けるものを救いたい」という誓願せいがんが「かたち」となって、私たちが照らす「智慧の光明」のおはたらきとして、親鸞しんらん聖人せいじんはただかれています。



お内仏(お仏壇)の中心にご本尊「阿弥陀如来」をご安置ください。
 ご本山(真宗本廟・東本願寺)からお受けしますので、お寺までお問い合わせください。



○通夜・葬儀について

段取りやわからないことなどがあれば、お寺までご相談ください。お布施については随意です。無理のない範囲で精一杯お包みください。(ただし、院号法名や東本願寺・真宗本廟に収骨をご希望の方は、ご本山に相続講金をお納めしますので、ご相談ください)

令和6年(2024年)度の年回忌案内

回忌	命終された年
1周忌	2023年(令和5年)
3回忌	2022年(令和4年)
7回忌	2018年(平成30年)
13回忌	2012年(平成24年)
17回忌	2008年(平成20年)
23回忌	2002年(平成14年)
27回忌	1998年(平成10年)
33回忌	1992年(平成4年)
50回忌	1975年(昭和50年)

○年忌法要

(ご法事)について

本堂、ご自宅のお内仏前、(墓前)でお勤めします。

日程や場所がお決まりになられたら、お寺へご連絡ください。

TEL 047-337-5305

門徒さん随想

悲しみのゆくえ

田中 あゆみ

この四月に主人の三回忌を終え、悲しみは募るばかりですが、少しずつ、悲しみの質が変わってきたように思います。

古典の世界では、「かなし」は「愛し」とも「美し」とも書きます。「いとかなし」、目にしたことがありますね。

『悲しみは慈しみ(いつくしみ)でありまた「愛しみ(いとおしみ)」である。悲しみを持たぬ慈愛があるのか。それ故慈悲ともいう。』

【『南無阿弥陀仏』 柳宗悦著】

「民藝」で有名な柳宗悦氏が解釈する「慈悲」。順序だてられていて、私には初めて、「慈

悲」という言葉が身近に感じられました。悲しみに涙はつきもの。さめざめと泣いても号泣しても、その後は何だか心も体もあたたかい。

母親の胸で泣いたとき、ぬくもりを感じたことがあつたでしょう。それもそのはず、観音菩薩は「悲母親音」、キリストのマリア様は「悲しみの女」と呼称されることもあるそうです。納得しますね。喪服姿の未亡人の美しさ(笑)

そして、仏教といえば聖徳太子。法隆寺の大伽藍などを見事に再建した宮大工の言葉にも含蓄があります。

『法隆寺の場合には、英邁限りない聖徳太子が仏法の慈悲をもつて国を治めようとなさつたんやと思えますが、多くの仏法者を養成するための道場としての伽藍ですがな。仏法の慈悲ゆうたら、母が子を思う心だつせ。火事や地震

やと火急の場合、自分の一身にかえても子を救おうとする、それが慈悲でんがな。』

『木に学べ』 西岡常一著

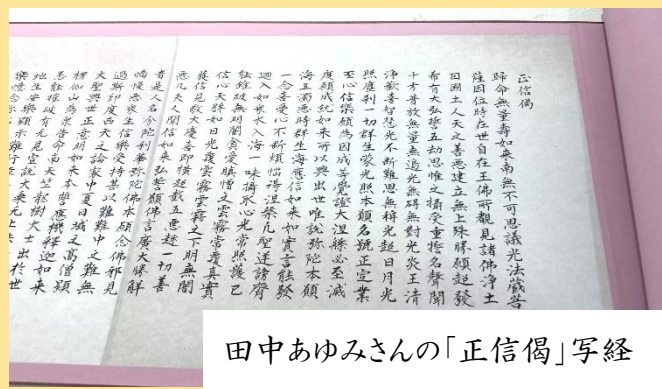
柳氏も西岡氏もお坊さんではありません。でも一流の仕事をなさる方々は慈悲を知っています。母親である私より慈悲を理解して体現していらつしやいます。

今までの悲しみ、変わつてゆく悲しみ？

悲しみが変わるのではなく私の心が変わるのでしようか・・・。

『慈悲の漢字を四文字に変えると「炫心非心」(この心、心にあらず)』

【浄土宗新聞】



田中あゆみさんの「正信偈」写経

あとがき



▼六月は初めて北海道へ。旭川市の聖台寺さまの報恩講に参詣。▼八月は厚木市へ。隆寛律師の墓所(光福寺さま)、善鸞上人の墓所(弘徳寺さま)を参拝。同日、相模原市の金相寺さま学習会へ。▼九月は石川県へ。加賀市の大聖寺さまと小松市の勝光寺さまにて、二日間池田勇諦先生のご法話を聴聞。▼合間には、百々海先生に石川県内各地を案内していただき、暁烏先生の明達寺さま(写真①)や称佛寺鍋谷道場(写真②)を拝観。(釋光生)



①明達寺
臘扇堂
暁烏敏師が
清澤満之師
を仰ぐ
②鍋谷道場
お内仏



真宗大谷派 ^{どうじょうじ} 道誠寺

〒272-0804

千葉県市川市南大野

1-26-31

TEL: 047-337-5305

URL:

<https://dojyoji.com>

メールアドレス

ichikawadojyoji

@gmail.com

住職 釋光生

副住職 釋潤生

前住職 釋慈敬

